

B型肝炎予防接種を受けた後の注意事項

- ① 予防接種を受けたあと30分間は、接種医療機関でお子さまの様子を観察するか、医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。急な副反応はこの間におこることがあります。
- ② 接種後は寄り道などせず帰宅し、普段どおりゆったりと過ごし、はげしい運動はさけましょう。接種した箇所を清潔に保ちましょう。
- ③ 入浴は差し支えありませんが、わざと注射した部位をこすことはやめましょう。
- ④ 副反応について

注射部位の症状は赤み、しこり、腫れや痛みなどですが、注射したところだけでなく熱が出たり、刺激に反応しやすくなったりすることがあります。また、機嫌が悪かったり、ぐずったり、眠そうにしたりすることがあります。

きわめてまれに、アナフィラキシー(1)、急性散在性脳脊髄炎(2)などの病気にかかることがあります。詳細は、医薬品医療機器総合機構(PMDA)のホームページをご覧ください。

(1)アナフィラキシー：急激なアレルギー反応により、じんましんがでたり呼吸が苦しくなったりすることがあります。

『重篤副作用疾患別対応マニュアル アナフィラキシー』 <http://www.pmda.go.jp/files/000144285.pdf>

(2)急性散在性脳脊髄炎：自己免疫(免疫力が強すぎて自分自身の体を攻撃してしまう)といった現象で起こる脳や脊髄の病気です。発熱、嘔吐、意識がはっきりしない、手足が動きにくいなどの症状が見られます。

『重篤副作用疾患別対応マニュアル 急性散在性脳脊髄炎』 <http://www.pmda.go.jp/files/000145987.pdf>

予防接種を受けた後、気になる症状や体調の変化が現れたら、すぐ医師に相談してください。